

(議長)

次に、小林議員の発言を許可いたします。

小林議員。

「小林議員」

私からは2つ、2項目に渡って質問いたします。

まず1つ目、道の駅の整備について伺います。

町長の所信表明で、江差海の駅に町内2つ目の道の駅を併設すると述べており、実現が近づいてきました。

そこでお聞きしますが、現在の「道の駅江差」をどのように位置図けるのか。

選択肢としては、現状のまま、または無人駅として、閉鎖は無いのでしょうかけれども、閉鎖なども考えられますが、具体的な構想をお伺いします。

(議長)

はい、町長。

「町長」

小林議員から、北の江の島構想の推進に向けた現開陽丸管理棟周辺への道の駅施設整備に伴う、現在の道の駅の位置付けに関するご質問にお答えいたします。

ご案内のとおり、現「道の駅江差」につきましては、平成5年4月に、道内での道の駅が整備された初年度に登録されたもので、整備当時の道の駅機能は「観光案内、24時間トイレ、一定の駐車スペース」であり、江差中心市街地への玄関口ともいえる当該地域に整備されたところでございます。

また、道の駅整備とあいまって、ドライバーや観光客の立ち寄り場所が必要との考えから、当該地域住民のご協力もいただきながら、江戸時代に実在したと伝えられている「繁次郎」像を道の駅敷地内に建立したものであり、また、その後、施設が小さいことを逆手に取り、「自称日本一小さな道の駅」として、クラウドファンディングでのご寄付を集めながら、平成31年4月にリニューアルし、日本海を間近に感じる道の駅の魅力向上に大きく貢献してきたものと認識しております。

こうした背景を踏まえ、去る令和4年3月に策定いたしました、北の江の島拠点施設整備基本構想でも、現、道の駅活用の方針として、「今後、新たな道の駅施設が整備された場合にあっても、現、道の駅は、ドライバーをはじめ観光客などが江差市街地に入るエントランスとしての役割を担っていく場所として存続できるよう国と協議していく。」と記載しているものでございます。

今後、新たな道の駅施設の整備に向け、具体的な機能設計を協議していくこととなりますので、そうした協議の中で、現在の道の駅の施設運営のあり方を検討していくこととなりますので、ご理解いただきたいと思います。

(議長)

はい、小林議員。

「小林議員」

再質問させていただきます。

先ほど町長おっしゃいましたが、道の駅江差に関しましては、道の駅としての歴史もさることながら、クラウドファンディングで改装した経緯などもあります。

最近ではQRコード決済などを活用した無人の道の駅などもあるようです。町として最初の道の駅を今後も生かすアイデアを模索していただきたいと思いますが、所見を伺います。

(議長)

追分観光課長。

「追分観光課長」

小林議員から、QR決済機能を有した道の駅のあり方も含めてですね、今後の在り方についてのご質問だったと思います。

お答えさせていただきます。

小林議員の今の質問にもありましたように、現在、千葉県の市川市などでですね、入店から決済までスマートフォンによるアプリで行うことができる、無人の道の駅がオープンしていることは我々も承知してございます。

町長からもご答弁させていただいたようにですね、今後、新たな道の駅の施設を、整備を進めて行くことに合せまして、現在の道の駅の機能についても併せて協議していくこととなりますので、今、ご提案のございました内容も含めてですね、今後、内部で協議を進めてまいりたいと思いますので、ご理解願いたいと思います。以上でございます。

(議長)

いいですね。

じゃあ2問目。はい、小林議員。

「小林議員」

2問目に入ります。

(仮称)教育支援金について、お伺いします。

町長の所信表明で、(仮称)教育支援金について触れておりました。そこで以下、2つお聞きします。

1つ目ですが、「支援してまいります」とのことで、かなり内容は煮詰まっているので

しょうか。現時点でのお考え、また、新年度実施なのか、スケジュールをお知らせください。

2つ目。江差で生まれ育った、となぜ限定するのでしょうか。引越ししてきても、それから永住するかも知れません。

また、町長就任当時から掲げておられました関係人口の拡充、Uターンの拡充など、2、3年で転居するかもしれない道職員などの、想定して江差町で生まれ育ったと限定しているのかも知れませんが、江差の子育て支援、子どもと江差で楽しく暮らせた、大変素晴らしかったと実感してもらうことで、こういった関係人口の増加や、第2の故郷江差と思って足を向けていただける、将来に生きる施策になるのではないかと私は思います。お考えをお聞きします。

(議長)

町長。

「町長」

小林議員から「(仮称)教育支援金について」の2点について、ご質問をいただいております。

制度内容に関してのご質問ですので、まとめて答弁をさせていただきます。

教育支援金につきましては、町内で生まれ育った児童が小学校入学時に、第1子では20万円、第2子に30万円、第3子以降には60万円を支給することで私の公約並びに所信表明をさせていただいておりますが、これは、3期目4年間の中での表明でございます。

具体的な制度設計や実施時期、財政的なものも含め、これから担当所管課と協議検討することとしております。

いずれにしましても、議員のご提言も参考としつつ制度設計してまいりたいと考えておりますので、ご理解いただければと思います。

(議長)

はい、いいですね。

以上で小林議員の一般質問を終わります。

すべて終了いたしました。

これで一般質問を終結いたします。